### 補有限位相

集合 X に対して部分集合族  $\mathcal{O}_{cf}$  を定める。

$$\mathcal{O}_{cf} = \{\emptyset\} \cup \{O \subset X \mid X \setminus O \text{ は有限集合}\} \tag{1}$$

 $\mathcal{O}_{cf}$  を補有限位相といい、 $(X,\mathcal{O}_{cf})$  を補有限位相空間という。

### 距離関数

集合 X 上の実数値関数 d が次を満たすとする。

$$d: X \times X \to \mathbb{R} \tag{2}$$

$$d(a,b) \ge 0 \tag{3}$$

$$d(a,b) = 0 \Leftrightarrow a = b \tag{4}$$

$$d(a,b) = d(b,a) \tag{5}$$

$$d(a,b) + d(b,c) \ge d(a,c) \tag{6}$$

このとき、関数 d を距離関数という。

集合 X に距離関数 d が定義される場合、この 2 つの組合せ (X,d) を距離空間という。

#### ノルム

 $x \in \mathbb{R}^n$  に対して次の値を  $L_p$  ノルムという。

$$\|x\|_{p} = \left(\sum_{i=1}^{n} |x_{i}|^{p}\right)^{\frac{1}{p}} \tag{7}$$

 $m{x}, m{y} \in \mathbb{R}^n$  に対して  $L_2$  ノルム  $\|m{x} - m{y}\|_2$  がユークリッド距離を表している。 $d_2(m{x}, m{y}) = \|m{x} - m{y}\|_2$  と書いたりする。

 $L_1$  ノルムを距離関数として書く場合、 $d_1(x, y) = ||x - y||_1$  と書く。

#### 問題

# 1. [補有限位相空間]

集合 X 上の補有限位相空間  $(X, \mathcal{O}_{cf})$  が位相空間であることを確かめよ。

.....

 $X^c = \emptyset$  より  $X \in \mathcal{O}_{cf}$  である。

 $A, B \in \mathcal{O}_{cf}$  に対して  $A \cap B \in \mathcal{O}_{cf}$  であることを示す。

補集合を考えれば  $(A\cap B)^c=A^c\cup B^c$  である。要素の個数は  $|(A\cap B)^c|\leq |A^c|+|B^c|$  であるので、有限である。よって、 $A\cap B\in \mathcal{O}_{cf}$  である。

また、 $A_i \in \mathcal{O}_{cf}$  に対して、 $A_1^c \supset (A_1 \cup A_2)^c$  である。これを繰り返し次のような集合の列ができる。

$$A_1^c \supset (A_1 \cup A_2)^c \supset (A_1 \cup A_2 \cup A_3)^c \supset \cdots \supset (A_1 \cup A_2 \cup \cdots \cup A_n)^c \supset \cdots$$
 (8)

 $A_i \in \mathcal{O}_{cf}$  であるので、 $A_1^c$  は有限集合となり、これに含まれる集合は有限集合である。よって、 $\bigcup_{i=1}^\infty A_i \in \mathcal{O}_{cf}$  となる。

以上により、 $\mathcal{O}_{cf}$  は開集合族となり、 $(X,\mathcal{O}_{cf})$  は位相空間となる。

### 2. [補有限位相空間]

 $(\mathbb{R}, \mathcal{O}_{cf})$  において a < b なる任意の  $a, b \in \mathbb{R}$  に対して開区間 (a, b) は開集合ではないことを示せ。

.....

(a,b) の補集合は  $(-\infty,a]\cup[b,\infty)$  である。これは有限集合ではないので  $(a,b)\not\in \mathcal{O}_{cf}$  であり、開集合ではない。

## 3. [ℝ 上の開集合]

 $(\mathbb{R}, \mathcal{O}_{d_1})$  における  $\mathbb{R}$  において、[a,b] および [a,b] は開集合でないことを示せ。

.....

 $x,y \in \mathbb{R}$  について距離関数  $d_1$  は  $d_1(x,y) = |x-y|$  となる  $L_1$  ノルム (マンハッタン距離) を示している。

この時、開集合族  $\mathcal{O}_{d_1}$  は次のような集合族である。

$$\mathcal{O}_{d_1} = \{ O \subset \mathbb{R} \mid \forall x \in O, \exists \varepsilon > 0 \text{ s.t. } d_1(x, y) < \varepsilon \Rightarrow y \in O \}$$
 (9)

 $a\in[a,b)$  である。 $d_1(a,y)<\varepsilon$  となる y が存在する区間は  $(a-\varepsilon,a+\varepsilon)$  である。  $\varepsilon>0$  をどれほど小さく取ってきても区間  $(a-\varepsilon,a)$  の点は区間 [a,b) に含まれることはない。よって、 $[a,b)\not\in\mathcal{O}_{d_1}$  となり開集合ではない。

[a,b] も同様に  $[a,b] \notin \mathcal{O}_d$ , であり開集合ではない。